

音楽と私

—12個のメロディー—

12番 崔多恵(チェダへ)

私にとって大切な社会は「音楽」です。理由は単純に音楽が大好きだからです。

小学1年生から6年生までピアノを学びました。今はただ趣味で弾いています。

ストレスが溜まったときとか悩み事があったときにピアノを弾いたらその瞬間だけは忘れるのができます。しかし夜遅くなって弾けない場合には音量を最大にして音楽を聴きます。音楽ならクラシックからロックまで幅広く聴きます。ジャンルによって魅力が違うと思うので、なるべく偏食せずに聴くようにしています。クラシックは楽器の旋律を感じながらその曲の雰囲気や想像するのが大好きで、ロックは単純に楽しめるのができるし、ロックって意味深い歌詞の曲もけっこうあって聴きながらその歌詞の内容を分析したりするのも楽しみです。実際に大好きなロックバンドの最近出したアルバムが全曲、陰謀論の話に基づいていたので内容についてネットで彼のファンたちと一緒に話し合いなら考えたりしました。

音楽の関係の仕事をしたかったときもあります。例えば、音楽評論家とか、作曲・作詞家とか音響エンジニアなど……しかしよく考えてみるとどれぐらい好きなことでも仕事になってしまったら嫌になる可能性もあると思います。最初には興味あって学び始めた日本語が大学に入るときにいつの間にか語学特技者という形になってしまっていて好きという気持ちだけでは楽しめるのができなかったこともありますから…。

今の目標はたくさん聴いて、たくさん読んで、たくさん経験しながら音楽に関する知識を広まるのです。私の大切な社会「音楽」、これからも音楽を純粋に楽しめる気持ちを守り続けたいです。

音楽と食をテーマとした散歩のときに私たちは秋田駅前の「タワーレコーダ」とあるラーメン屋に行きました。タワーレコーダに着いて一番驚いた

のは韓国のアイドルの日本での活発な活動でした。日本で出したアルバムだけではなく韓国で出したアルバムも全部売っていたので、その点で日本での韓国アイドルの人気を実感しました。こんな社会的な現状について嬉しい気持ちもありますが、少し惜しい気持ちもあります。もちろん今の韓国のアイドルはみんな長い練習期間を基にして活動をするので実力もかなり高いですが、アイドル音楽以外の曲も注目し、聴いてほしいと思います。母国語として使っている言語は違っても名曲はみんなに感動を感じさせるとと思います。私がまだ日本語が話せなかったときに聴いたj-popの名曲たちに感動したようにです。それが音楽の魅力ではないでしょうか。

授業でみんなと音楽について話し合いました。音楽を大切な社会として選んだ理由、音楽についてもっている気持ちとか自分にとっての意味そして考え方などについて共有しました。まずは私の話をみんなに聞かせてあげました。

高校に入ったとき今までと違う環境、入試についての圧迫感、変わった生活パターンなどのいろんなことでたくさんストレスが溜まったし詳しくはいえないですが中3の冬休みに親とひどいトラブルがあって精神的にも弱くなっていただきそのときには気づかなかったが今になって考えてみるとそのときが私の思春期だったと思います。そんないろんな悪い環境が重なって真剣に学校もやめたかったし絶対にしたらいけない怖い考えもしたりしました。そんな激しいときに私を癒してくれて私の壁になってくれたのが音楽です。紹介文にも書いているようにピアノを弾いたらその瞬間だけはいらいごととか悩みのことを全部忘れることができ、音楽を聴くたびにただ聴くだけではなくその音楽のイメージを想像しながら聞いたら他のことは忘れることができました。音楽のイメージを想像するというのは例えばドビュッシーの月の光(私が一番大好きなピアノ曲です)を聞いていると誰もいない静かで真っ暗の森の中に湖水があってその湖水にきれいな光の満月が映っているイメージが想像できます。

人にもそれぞれの個性があるのと同じように音楽にもそれぞれのイメージが一つずつは必ずあると思います。そのイメージを見つけるのが音楽を感想するときの一番大切なことだと思います。

私の音楽についての愛情っていうか、興味深さをもっと話し合いましたがいちようここまでにして残りの話は後にもっと詳しく書きたいと思います。グループの人たちは音楽についてどう考えているのか聞いてもらいました。みんな音楽が好きな人たちでしたのでお互いに考えを共有しやすかったです。

張さんとの話し合いで新しいことを知ることができました。今まで韓国の高校だけが23時まで学校で勉強させられるんだと思いましたが、張さんも2

3時まで学校で勉強させられたそうです。彼女は学校の授業が多すぎて音楽を聴きたくてもそれができなかつたのでつらかったと言ってくれましたがその点で似ていたのもので共感できました。

咲綺さんはふだんにも音楽をよく聞きますが大学のセンタ試験のときに緊張してリラックスするために休みの時間にクラシックやジャズをきいたそうです。自分も大事な試験のときに同じようにするし、音楽には元気になれる力があると話し合いましたがいつも音楽に元気をもらっている自分なのでわかるような気がしました。

正さんとは一番好きなジャンルがロックという点で一致したので楽しく話し合いました。ほぼ毎日ロックを聞いているそうです。ギターも弾けるそうですがすごくうらやましかったです。一度お父さんにギターを学んだことがあります。コードを弾くのも難しく指先が痛くてやめました。我慢してもっと頑張ったらよかったなと思います。

音楽という社会の中でどういうふうに生きていけるかについて何日に掛けて考えてみました。そしていろんな結論がでました。まずピアノは死ぬまで弾くつもりです。習い始めたとき(八歳)には自分の娘がピアノを弾けるようになってほしいという母の願いから始まりましたが今は私の大切な親友になったと思います。死ぬまで大切にしたいです。そしてこれからも音楽はジャンルに関係なく聞くつもりです。それが音楽に対する礼儀だと思います。うえにも書きましたがジャンルによって個性、イメージ、特徴が全部違うのでジャンルを偏食するのはバカみたいなことだと思います。

これからはもっと幅広く音楽についての考えを人々と共有したいです。例えばブログとかツイッターにある曲についての私の考えとか感想を書いて共有したいと思います。そのためには作文と音楽史の勉強をする必要があると思うので、作文の勉強もしてまた専門家にも負けないぐらいの音楽知識を勉強して持ちたいです。これが今私の目標です。そして最近音楽関係の会社で働きたいという気持ちが出てそのために英会話と中国語も学ぼうと思っています。私の大切な社会で生きてゆくために今よりもっとがんばります！

自分にとって大切に、特別な意味で、そして関係があると思えるもの。社会というのは意外と簡単に考えられるのではないのでしょうか。自分にとって大切だったらそれが自分の社会です。また自分にとって特別な意味があればそれも自分の社会だと思います。私たちは現在いろいろな社会の中で生きています。その中で自分に大切な社会もあり、意味のない社会も必ずあると思います。そして、いつの間にか自分の大切な社会だと思われたのが意味がなくなったり、今自分に意味がなくて大切ではない社会が大切に

なるときが来るかも知れません。

私たちはいろいろな社会の中でそれぞれの経験をしながら生きてゆくのではないのでしょうか。

今、あなたにとって一番大切に特別なのはなんですか。

初めての日本、初めての留学そして初めての日本での授業。多文化コミュニケーションは私の記憶に長い間残る授業ではないかと思います。今でも初めての授業のときが鮮明に思い出せます。緊張しすぎて先生の話は全然耳に入らないし、これからよくできるかが心配でした。最終レポートを書いている今、私はこの授業を聞いてよかったと思います。優しく、いい人たちもたくさん会ってその人たちといろいろな話もできて一生忘れられない大切な思い出をもらえました。本当に感謝しています。そして、音楽について深く考えられる機会を下さってありがとうございます。

2012年1月20日午後3時。自然が聞こえてくれる音楽、春が近づく音を聞きながらレポートを仕上げます。